

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
平成28年6月24日	
大分県知事 殿	
提出者 住 所 福岡市博多区千代2丁目15番12号 日本コムシス(株)九州支店 氏 名 九州支店長 三原 英樹 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 092-631-0268	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	日本コムシス株式会社 九州支店
事業場の所在地	福岡市博多区千代2丁目15番地12号
計画期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	設備工事業
② 事業の規模	前年度完成工事高 127億円(九州支店)
③ 従業員数	183人(九州支店)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	日本コムシス(株)では、工事で発生する不用品等については発注者からの指示で返納するものを除き、産業廃棄物として許可を持った処分業者と処理契約を取り交わし処理を委託している。 工事施工 → 不用品発生 → 産業廃棄物 → 委託処理

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
支店長	安全品質管理部門 ISO担当	業務部	
		営業部門	
		NTT 事業部門	
		ドコモ事業部門	
		IT事業部門	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（ 27 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・施工材料の搬入数量を適正に管理し、現場での端材発生を抑制した。 ・再利用できる梱包材の使用を求め、梱包ごみの発生を抑制した。 ・現場で再利用できるものは、極力繰り返し使用し発生を抑制した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・コンクリート、アスファルトがら木くずについては、工事受注量、工事の種類によって排出量が決まり、排出量の抑制はできないが、委託業者により再生利用を行う。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分割の種類：廃プラスチック、金属くず、がれき類、木くず、汚泥 ・分別の取組：保管場所を整備し分別保管を実施及び作業員の意識改革・高揚を図っている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分割の種類：廃プラスチック、金属くず、がれき類、木くず、汚泥 ・分別の取組：内部監査等により廃棄物類等の分別保管、適性処理を行っているか確認・指導を継続して行っていく。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 27 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・再生利用・再生利用を推進している委託業者との契約実施。 ・処理業者の選定・契約にあたっては、支店・現場共同で委託先の現地調査を事前に実施。 ・委託処理状況の確認は、支店とTSが定期的実施。 ・契約内容が守られているかマニフェストでの確認。 		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生利用・再生利用を推進している委託業者との契約の継続実施。 ・処理業者の選定・契約にあたっては、支店・現場共同で委託先の現地調査を事前に実施する。 ・委託処理状況の確認は、支店とTSが定期的実施する。 ・契約内容が守られているかマニフェストでの確認を継続する。 ・立入検査の実施 		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

